

雇用保険関係

令和3年版

会社がもらえる
助成金活用
のポイント

雇用の維持

*

働き方改革の推進

*

人材の確保

*

新型コロナウイルス感染症
関連の助成金も掲載

まえがき

令和3年は、昨年に引き続き新型コロナウイルスの影響が日常生活、企業活動に影を落としています。が、企業活動は立ち止まっているわけにはいきません。雇用の維持のため「雇用調整助成金」ほかの助成金が拡充されました。使わない手はありません。

一方、今年度は70歳までの就業機会の確保が努力義務となりました。国の政策が実行に移されると、必ず助成金は企業のチカラになります。

1 雇用の維持

雇用調整助成金の特例期間は延長されました。適切に情報収集すれば、社員の雇用を維持する、生活を守る助成金はすぐに見つかります。中小企業はもちろん、大企業でも使いやすい助成金が設けられています。

2 働き方改革

テレワーク制度は、令和2年に一気に普及しました。きっちりとした労働時間管理と労働時間制度、そして同一労働同一賃金が中小企業でも導入されることになり、人事諸制度を見直すことも多いのではないのでしょうか。助成金が後押しをしてくれます。

3 人材の確保

「育てる」気概をもって、正社員経験の少ない若い方や女性を採用してみましょう。人材育成に加え、労働環境の整備を行えば定着率の向上も見込めます。今こそチャンスといえます。

今自社が置かれている状況を放置するのではなく、自社の取組みや人事諸制度を見直すきっかけにしましょう。計画を持って、実行に移せば、助成金の受給は近いといえます。

経営者や人事労務担当者はもちろん、企業の経営を支援する士業の方に、この小冊子を日常の業務で活用していただければ幸いです。

著者

助成金の探し方

- ▶▶ 本書では、一般に理解されているように給付金・助成金・奨励金を「助成金」と総称します。
- ▶▶ 興味のある分野の助成金を調べましょう。目的や事業計画に合わせて分野を選択します。特段、特定の分野に興味があれば、「おすすめの助成金」(4ページ)から読み進めてください。
- ▶▶ 助成金の名称が分かっている場合は、目次(2ページ)から探し出すことができます。